

千葉市長 神谷俊一様

令和5年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和5年度において定例会議を3回開催し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

記

1 審議対象

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

2 審議経過及び審議結果

令和5年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

令和5年 8月24日 第1回委員会 審議案件 8件

令和5年 11月20日 第2回委員会 審議案件 8件

令和6年 2月14日 第3回委員会 審議案件 6件

3 意見

本委員会は、令和5年度発注案件の中から各委員が抽出した案件22件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できるところであり、今後も入札契約制度について、常に現状を把握し、公平性、透明性及び競争性を確保され、制度の目的が達成されているかを検証しながら、より効率的な改善に努められたい。

本市の入札不調の発生率は最も多かった令和2年度と比べると低下しているものの、他政令市と比較すると依然として高い状況にある。

技術者不足への対策や発注時期・方法を工夫するなど受注者の受注意欲を高めるような方策を検討するとともに、特定の業種で何度も不調を繰り返す案件について、具体的な対応策を講じられたい。

令和6年2月14日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

委員長	森	雅彦
委員	大内	浩之
委員	大川	優子
委員	大久保	佳織
委員	望月	悦子